



アノ人の仕事と日常を7日間にまとめてみると.....

WEBクリエイターの1週間

Webデザイナー / 写真家

ピーター・ブルーネ

得意な科目は「語学」「写真」「ActionScript」

日本語はペラペラ、母国語のドイツ語はもちろんフランス語、英語を含め6か国語を自在に操るそのWebデザイナーは、同時に写真家としてのスキルも兼ね備える多才な人物。写真と映画、そして放浪に20代を費やしたのちWebの世界へその方法論を持ち込んだのはごく最近のこと。その濃厚なバックグラウンドを通じて語るWeb、写真、日本での生活etc....。シャッターを切るのとWebをデザインする行為に共通するものは何なのか。ちょっと不思議で魅力的な一週間の追った。

取材・文 = 立古和智 写真 = 寺澤太郎

profile
ピーター・ブルーネ

1964年旧東ドイツ・ベルリン生まれ。1988年から写真家としておもに雑誌媒体で活躍。1990年にパリへ移住、以降グルジアやインド各国を放浪しながら雑誌に写真や文章を寄稿。1997年からWebデザインをスタートし、同年フンボルト大学、2001年には東海大学の別科を卒業。現在、マガジンハウス「デジタルマッツ」のWebデザイナーとして手腕をふるう。Flashのポテンシャルを最大限に活かしたWebサイトを多数制作中。

peterbrune | photography
<http://www.peterbrune.com/>

MON. 東急電鉄・田園都市線車中にて...

10:00 起床、多国籍メールのチェック
コーヒー、そしてたばこがうまい朝。とはいつても少し遅めの朝。本当は9時に起きたいところだが、なかなか身体がいうことをきいてくれない。起床後はメールをチェックして世界各地の友人とメールを交わす。当然メールもドイツ語、日本語、英語、フランス語とさまざま。同時にドイツのニュースサイト「tagesschau.de」をチェック。tagesschauはテレビ局で、日本でいうところのNHKのような存在。ここでは、Real Playerを使った映像配信も行っている。

11:00 東銀座・マガジンハウスに出勤
一応フリーランサーではあるものの、マガジンハウスの「デジタルマッツ」編集部のWebデザイン担当として編集部で常駐しているの、平日は電車で揺られて出勤。自宅の青葉台から編集部のある東銀座までは、東急田園都市線を利用して小1時間。通勤時間は本を読んだり、iPodで音楽を楽しんだり、ひとりでブレインストーミングを行うといった具合に時間を活用。有効に活用できれば、通勤時間もけって無駄にはならない。ドイツは街自体が小さいため、電車に乗ってもまとまった時間を確保することは難しいので、こうした経験は東京で初体験。ノートにメモしたスクリプトに関するアイデアは、出社したらすぐに実際につけてテストする。
ちなみにiPodの中身は60年代の日本の歌謡曲やムード歌謡。

13:00 夏木マリ氏とミーティング
広尾にある夏木マリ氏の事務所でのミーティング。2002年から手がけている夏木氏のWebサイト (<http://marinatsuki.com/>) の更新に関して意見を交わす。このサイトは英語、日本語、フランス語のトライリンガ



ブルーネ氏がデザイン・ディレクションを手がける夏木マリ氏のWebサイト <http://marinatsuki.com/>



職場は東京・東銀座、マガジンハウスのデジタルマッツ編集部。使用機は新型Power Mac G4とiBook。すでにOS Xを活用中



COLUMN おすすめサイト

アップルコンピュータ

<http://www.apple.co.jp/>
<http://www.apple.co.de/>
<http://www.apple.com/>
デザインサイトはそれほど見なくても、大好きなアップルのサイトは欠かさずチェック。Macが好きな理由は、Simplicityとテクノロジーの融合が見られるから。日本、アメリカ、ドイツの各国バージョンをチェックする。



Versiontracker.com

<http://Versiontracker.com/>
フリーソフト、シェアウェア、商用ソフト問わず世界中からソフトウェアのバージョンアップ情報が集まるサイト。Webの仕事をしているとテクノロジーに敏感であることは重要。新しいソフトをいち早く使ってみることは制作環境を便利にするためである一方で、純粋な楽しみひとつでもある。

tagesschau.de

<http://tagesschau.de/>
毎朝チェックするドイツのニュースサイト。運営母体は日本というNHKのようなテレビ局。RealPlayerにて映像配信もされている。本人曰く「海外情勢に関してはドイツのニュースは日本のものよりも詳細」とのこと。

TUE. ラーメンとたこ焼きとロゴデザイン

12:00 「日刊マッツ新聞」を更新
デジタルマッツのコンテンツ「日刊マッツ新聞」、ならびにJ-Sky上で展開している課金コンテンツの更新を行う。これらは、毎月行う大規模な更新作業とは別に毎日継続的に行われる作業。ちなみにマガジンハウスとの縁は、東海大学で日本語を勉強中に写真撮影を依頼されたときから始まった。

13:00 昼食は社員食堂で
昼食はおもにマガジンハウスの社員食堂を利用。ここでは、「magnetcafe」(<http://www.magazine.co.jp/>)を手がけるマガジンハウスのデジタルメディアセンターの人々と交流するのが日課。特に同じFlashデザインのスタッフとは、情報交換を欠かさず行う。トラブルが起こったときにも助け合える同僚がいると心強い。メニューはもっぱら和食をセレクト。外国人が苦手とする納豆も平気。メニューが種類となる金曜日は、必ずラーメンをセレクト。ラーメンはたこ焼きと並ぶ好物のひとつ。さらには日本移住の理由のひとつでもある。

22:00 写真、Web制作以外の仕事
ドイツ大使館が準備を進めている2005年の「日本におけるドイツ年」で公募中のロゴを制作。200人以上のデザイナーが参加してコンペが行われる。平日頃から写真とWebを中心に活動を行っているが、ここではグラフィックの仕事にもチャレンジ。過去に夏木マリのTシャツをデザインしたことはあるが、今後は機会があればCDのジャケットなどにもチャレンジしたいところ。つねにアイデアはたくさんある。フリーの仕事は会社の仕事に追われてなかなか身動きがとれないので、平日の夜が土・日に集中的に行う。



Flashを活用してマガジンの雰囲気を出したマガジンハウスのWebマガジン「デジタルマッツ」 <http://www.mutt.s.co.jp/>

WED. 屋上から見える銀座はSFのよう

15:00 屋上でリラックス

編集部の屋上はお気に入りの場所のひとつ。建物の屋上は子どものころから好きだった場所。東京・銀座の屋上からは遠方に汐留の近代的な高層ビル、手前に洗濯物が干された民家が見える。ハイテクと昔ながらの街並みの同居はドイツ育ちの自分には異質な光景だ。この季節は優しい日差しと心地よい風が、疲れた身体を癒してくれる。階下からはほのかにラーメンの香りが…。ちなみにマガジンハウスの社内はAirMacが完備されているので、iMacを持って行くこともある。読書？ 昼寝？ いやいやリラックス！

22:00 「青い部屋」の取材

シャンソン歌手、戸川幸子氏がオーナーを務めるクラブ「青い部屋」(<http://www.aoihey.com/>)の取材に同行。これはデジタルマッツのコンテンツ。ビデオカメラ、スチールカメラで撮影する。撮影された写真と映像はFlash MXを使ってSWF形式でパブリッシュ。Flash MXはとても便利。「青い部屋」は、今となっては珍しい若者からお年寄りまで夜遊びできるクラブ。少し飲みすぎて酔ってしまったが、取材は無事終了(のはず)。

26:00 海外クライアントの仕事に没頭

ドイツの映画制作会社「IT WORKS FILM PRODUKTION」のサイトデータを納品。Webの仕事は、地球上のどこかで活動していても納品できるのがうれしいところ。このサイトでこだわったところは、シンプルでわかりやすいiMacintoshデスクトップ風のインターフェイス。



ドイツの映画制作会社「IT WORKS FILM PRODUKTION」のサイト。Mac OS風のデザインが気に入っている
<http://www.itworksfilm.de/>



かつてデザインした夏木マリのイメージシャツ(左)。銀座カメラはコンパクト(右上)。デジタルカメラはソニーのDSC-U10(右下)を愛用

COLUMN おすすめ書籍

『ActionScript - Macromedia-Flash-MX-Programmierung』
(vmi Buch · 19.9ユーロ · Norbert Busche 著)

WebデザインとActionScriptに関するドイツ語の本。ActionScriptの例が多数収録されています。数字は子どもの頃から得意で、東ドイツの数学オリンピックで3位に入賞した経験もあります。

プログラミングに関する本。なかでもユーザーから入力される変数を用いた表現に関して詳細な例が記されています。入力フォームとかゲストブックとかね。これはamazon.deで入手。

『Macromedia Flash MX』

(Markt & Technik · 39.95ユーロ · Mehr Bilder ansehen 著)
Flash MXのベーシックなマニュアルのような本です。最近ほとんど使っていないけれど、すべてのスクリプトが列記されているので辞書として使っています。これはドイツ語版だけど、日本語版もあります。

『Das Profibuch Flash MX-Professionelles Design und Actionscripting』

(SmartBooks Publishing AG · 44.90ユーロ · Jan P.Cibulaなど著)
「アニメーション制作」「動的なインタラクション」に関する上級者向けの本。妹が来日したときに買ってきてくれました。

『Flash MX professionell』
(Galileo Press · 44.90ユーロ · Carlo Blatz 著)

これもActionScript、Flash MXでのブログ



CUT

CUT

FRI. 週末の編集部はさながらホテル

14:00 怒濤のデジタルマッツ更新作業

月末から月はじめにかけて、怒濤のデジタルマッツ更新作業が待っている。その数日間は編集部に泊まり込んで作業を続けるのが恒例。それでも食堂はあるし、シャワーもある。仮眠室も完備されているのでそれほど心配はない。仕事に没頭する環境としてはパーフェクト。夜な夜な作業を続けて朝になったらベッドに潜り込んで仮眠、昼すぎからまたひたすら作業と昼夜逆転生活が続く。この期間にアップデートするページ数は約60ページ。たぶん「世界最大のFlashサイト」であるデジタルマッツのオーサリングは、自分ひとりにゆだねられるタフな仕事。ActionScriptの変数を書き換えるだけで効率よく更新できるように、あらかじめ更新時の都合を考慮しておくことも欠かせない。デジタルマッツの制作体制は、雑誌「マッツ」時代からエディトリアルデザインを担当していたふたりのデザイナーと人の編集者、編集長の約10名の内部スタッフと多数の外部スタッフに支えられている。時にはカメラマンや通訳として海外取材に同行したりと、そのスキルをフルに活用している。

25:00 「山ちゃんラーメン」で夜食

編集部から歩いて2分、お気に入りの「山ちゃんラーメン」で夜食を食べる。朝の4時まで営業している長崎ラーメン店。トンコツスープは一見コッテリしているのかと思いきや、食べてみると後味あっさり。これに山盛りのニンニク、味付けタゴを乗せるのがピーター一流の楽しみ方。頻繁に通っているの、店員さんと顔なじみになってしまった。



編集部のすぐ裏手にある「山ちゃんラーメン」はお気に入りの店のひとつ



仕事場のある東銀座界隈はよい撮影スポット。古き良き下町の風情が漂う雰囲気がとても気に入っている

COLUMN

写真家 ピーター・ブルーネ

日本に移り住む以前は、世界各国を放浪してルポルタージュしたり、ポートレートを撮影していました。訪問した国数は66カ国。カメラを使ってある場所を切り抜く行為には、デザインに近いものを感じます。写真はアブストラクトな表現。一部を切り取るとか、モノクロにすることは「Less is more」ですね。

上ノ僕が18歳のときの作品で、祖国がまだ東ドイツと呼ばれていたころに国産のカメラとフィルムで撮影しました。写っているのは友人の息子で、彼の祖母が亡くなり墓地に埋葬されたときの様子です
下ノ9年前(1994年)にはじめて日本を訪れました。そのときに静岡の海岸で撮影した作品です。偶然、目の前で船が沈没してそれをフィルムに収めました



THU. 更新作業はActionScriptをフル活用

12:00 週間コンテンツのアップデート

毎週木曜日はデジタルマッツのコンテンツ、「コラム」「シネマショー」をアップデートする日。6ページを限られた時間内で制作しなければならない。更新作業はActionScriptを活用することで、なるべく無駄なく迅速に行えるように工夫している。

20:00 レバーがうまい、ねぎまがうまい

基本的にまったく自炊しないので、夕食も外食が基本。食べないことも多いが、この日は同僚と連れ添い有楽町の焼き鳥店「ねのひ」へ。好物のレバーとねぎまを食す。もちろんドイツ人だけにビールは大好物。日本のビールは、ドイツのものに比べると味がライトかどうかうまい。

25:00 帰宅後にフリーの仕事をごこなす

デジタルマッツ以外で更新作業なども含めて携わっているWeb関係の仕事は、「ユーロクリニック美容室」(<http://euroclinique.com/>)「Tropical Maria」(<http://www.tropicalmaria.com/>)「MARIO A」(<http://mariao.com/>)など全部で7本。いずれも、大規模な制作チームが必要なものではなく、個人レベルで完結する仕事を中心。写真と映像が自分のバックグラウンドなので、Flashを活用した動的なものが多い。クライアントからも比較のおまかせというケースが多いので、モチベーションも高まる。



愛用のiPod。中身は60年代の昭和歌謡など...

SAT./SUN. 複数分野でスペシャリストになる

(SAT)15:00 会社の近所を散歩

カメラを持って編集部の近所を散歩。好物のたこ焼き屋もあれば、ラーメン屋もある。歌舞伎座も何度も撮影した。少し歩けば大通りに出るが、マガジンハウスの周囲は細い路地にネコが寝ていたり、植木が無造作に並んでいたり生活感に満ちた下町の風情が漂う。歩いて5分の場所にある祝橋公園は、春になると桜がきれい。

(SAT)20:00 個人サイトを更新

時間がなくてなかなか手をかけられない個人サイト「peterbrune | photography」を更新。写真家としてのサイトとWebデザイナーとしてのサイトをもつが、ともにプロモーション・ポートフォリオ的な意味合いが強い。同サイト経由で舞い込んできた仕事も少なくない。サイトは自分自身の写真をPRするために制作したものだが、いつのまにかこちらが本業になってしまった。

(SUN)12:00 代々木公園で撮影

デジタルマッツのコンテンツの取材。この日の被写体はストリートバンド「REAL BRASS」。ニューオーリンズな薫り漂うファンキーなブラスバンド。この日はスチールのみならず、DVでストリーミング用の映像を撮影。グルーブにあふれた音、臨場感に満ちた映像が撮影できた。Webデザイナーと写真家は一見共通項目がないように見えるが、実は両者は近い存在。カメラによって時間や空間の一部を切り抜く行為は、すなわちデザインだと思う。こうした専門性はどこかでつながっているし、ドイツでは複数の分野でスペシャリストになるのはごくふつうのこと。日本人はひとつの分野のスペシャリストを育てることに、こだわりすぎて



いるような気がする。

個人サイト「peterbrune | photography」は、写真家である自分の原点であり分岐点となった